

遠藤れい子の県政だより



○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3丁目1-3 TEL.0258-32-1741 Fax0258-32-6443

○県議会執務室 〒950-0965 新潟市中央区新光町4-1 県議会内 TEL.025-280-5475

*「遠藤れい子の県政だより」は、政務活動費を活用して発行しています。



厳しい暑さが続くもとで、新型コロナウイルスの感染拡大も懸念されています。新潟県議会（6月定例会）は6月15日から7月5日まで開催され、感染症対策や東電・柏崎刈羽原発問題、医療・福祉・環境問題など、多岐にわたる論戦が交わされました。遠藤れい子県議は、6月29日の連合委員会において、知事質疑を行いました。

東京電力の原発運転能力と資格が問われる根本問題… 「核物質防護」問題の情報を公開せよ



知事

県技術委員会における核物質防護に関する確認作業についてであり、ですが、ご指摘のように一定の守秘義務のもとで行なうたとしても、その内容は公表できません。

遠藤

県技術委員会において、一定の守秘義務のもとで確認作業をおこなうことはできませんか。

知事

核物質防護に関する情報公開は、公共の安全等に支障を及ぼす恐れがある情報であり、法律により情報公開が制約されますが、県として東京電力に対し、可能な限り情報公開するよう要請しております。

「核防護問題は情報公開が制約される」「秘密保持義務がある」などと、国や東電から情報が一切明らかにされないのは、県民をないがしろにするものと言わざるを得ません。県として、規制委員会や東電に可能な限りの情報開示を求めるべきではありませんか。



遠藤

東電・柏崎刈羽原発で侵入を検知する設備が損傷していた問題で、原子力規制委員会は、最も深刻な「赤」と評価し、核燃料の移動を禁止しました。県民の安全をおびやかす重大問題であり、東電の原発運転能力と資格が根本から問われ、原子炉設置許可取り消しもありうる重大問題です。

安心して暮らし続けられる地域へ 小国診療所を訪問・懇談

もともと「小国医療センター」として常勤医2名体制だったのに、5年前には入院棟が廃止され、現在は常勤医1名となっています。

遠藤れい子県議はこのほど、笠井長岡市議や細井前市議、平あや子さんらと診療所を訪問し、小林所長と懇談しました。所長は、「高齢化と過疎化が進む豪雪地では、健康だけでなく、生活全般をケアできる社会的なサポートが重要」と語られました。

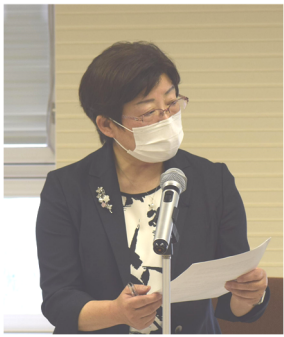


歩道がせまくて危険…国道403号線 県地域振興局に解決求める

大河津分水の拡幅工事に関係する大型トラックがひんぱんに通る国道403号線。中之島信条地区では歩道がせまく、路肩の痛みも激しいため、地元住民から「歩行者はとても危険で怖い」「安全な歩道を」との強い要望が出されていました。

7月14日、連合町内会長、区長さんなどと一緒に現地を調査しながら、県の長岡地域振興局に対して「安全確保対策」を強く要望しました。





遠藤れい子県議は、福祉保健部関係の質疑で◇新型コロナウイルス対策、◇県央基幹病院をめぐる諸問題、◇医師確保対策などについて取り上げ、質疑いたしました。

特に感染症対策の「切り札」とされる「ワクチン接種」について、星名感染症対策・薬務課長が答えました。

なかなか進まぬワクチン接種



介護・保育等ケア労働者、障害者とその家族 訪問療養者などに優先接種を配慮してほしい

医師が訪問診療、巡回診療等でワクチン接種を行なう場合の市町村への支援につきましては、毎週ウェブ上で市町村と意見交換会を行っていますので、交通の確保、あるいは巡回診療、訪問診療に対する助成のあり方等も、市町村を支援する形で取り組んでまいりたいと考えております。



医師が訪問診療、巡回診療等でワクチン接種を行なう場合の市町村への支援につきましては、毎週ウェブ上で市町村と意見交換会を行っていますので、交通の確保、あるいは巡回診療、訪問診療に対する助成のあり方等も、市町村を支援する形で取り組んでまいりたいと考えております。

もう一つ、訪問医療を受けておられる療養者や障害者の人たちは、訪問診療していただいている医師からワクチン接種を受けようとする、移動時間や人手の関係でお断りされる状況もあると聞きますが、対策が必要ではないでしょうか。



もう一つ、訪問医療を受けておられる療養者や障害者の人たちは、訪問診療していただいている医師からワクチン接種を受けようとする、移動時間や人手の関係でお断りされる状況もあると聞きますが、対策が必要ではないでしょうか。

居宅サービスあるいは訪問サービスの従事者は、高齢者に次ぐ高齢者施設等の従事者として、市町村の判断で優先接種を行なえます。保育士、教員、障害児・者とその家族などを優先接種の対象としている市町村もございます。



居宅サービスあるいは訪問サービスの従事者は、高齢者に次ぐ高齢者施設等の従事者として、市町村の判断で優先接種を行なえます。保育士、教員、障害児・者とその家族などを優先接種の対象としている市町村もございます。

こうしたもとの、感染リスクの高い小規模な介護の現場やデイサービスなど居宅系サービスに従事する介護職員、ワクチンの対象とならない子ども保育士や学校の教師、医療的なケアを必要としている障害児とその家族など、ワクチンの優先接種を配慮すべきと考えますがいかがでしょうか。



65歳以上の高齢者ワクチン接種が進んでいますが、若い方々はこれからです。



▲藤野保史衆院議員、平あや子氏らと(7/24)



▲菊田まきこ衆院議員と中之島で小集会(6/5)



▲米山隆一前知事と街頭から(4/27)

国政 県政報告を行なっています

いま、市内各地で国会議員のみなさんなどと一緒に、国政・県政報告を行なっています。

“生理の貧困”への支援を

新型コロナウイルスのもとで仕事やバイトがなくなるなど、生活苦から生理用品が買えない状況となり、「生理の貧困」が全国的な問題となっています。日本民主青年同盟新潟県委員会は、県下各地の大学生を中心に、食糧支援の取り組みを行なっており、生理用品の需要も少なくありません。

遠藤れい子県議は6月県議会で“生理の貧困”への支援を求めました。

県は「国の交付金を活用して市町村と連絡調整を強め、支援を実施したい」と答えました。



日本民主青年同盟が実施している食糧支援

糸魚川市の地滑り調査を実施

7月6日、新潟県災対連のみなさんと一緒に、糸魚川市来海沢地区で今年3月に発生した地すべり災害の調査を糸魚川市防災課と市消防本部の立入許可を受けて行いました。この災害では幸い人的被害はなかったものの、全壊2棟、半壊1棟、県道寸断、停電、断水、田畑の被害が広がり、まだ避難解除されていない地域も残されています。

